

参加者の声

Global Enterprise Challenge (GEC)は、参加者から「短時間に課題解決のための事業アイデアを考えて計画立案する活動は、普段学校で経験することができない体験だった」と、高い評価を得ています。高校生の皆さんにとっては、大変ながらもワクワクしながら友人達とチャレンジを楽しむ機会となっているようです。そして、この競技に参加したことが、その後の進路選択にも大きな影響を与えたというコメントも多数寄せられています。

2024年入賞者



トミン (Minh To) (写真後列一番右)
(かえつ有明高等学校)

私たちは、最初にこのチームを作った際、コンテストに挑戦する上で必要になるだろう分野に強い人(チームリーダー、ビジネスプラン作成者、動画編集者、3Dモデル担当者、経済プロジェクター)をメンバーに選びました。そして、GECの課題に取り組むにあたって、必要な人材を集めたかと思っていましたが、実際にはそれだけでは不十分であることに気づきました。なぜなら、競技で良い成績を残すためには、各分野ごとの専門性だけでなく、他にも重要な要素があったからです。チーム内では、意見の食い違いやコミュニケーションミス、共通認識のずれなどが頻繁に起こりました。数々のミーティングや事前練習大会を通じて、これらの問題点に気づき、改善を試みました。その結果、当日も多少のコミュニケーションの問題はありましたが、無事に時間内に提出することができました。本競技を通じて、私たちはコミュニケーションスキルの重要性を学びました。GEC/GYECから得られるものは、ビジネスコンテストとしてのビジネススキルだけではなく、より根本的な部分であるコミュニケーションスキルやチームワーク、様々なマネージメントスキルを伸ばすこともできました。これらのスキルは学校生活だけでなく、将来的な取り組みにも役立ちます。本競技を通じて、私たちチームの一人ひとりがビジネスのスキルだけでなく、将来に役立つ多くの貴重なことを学びました。勝ち負けに関係なく、このコンテストに参加できたことをチーム一同、心から良かったと感じています。

2023年入賞者



東江いずみ (写真1列目左から2人目)
(広尾学園高等学校)

GECへの参加はビジネスだけでなく、チームワークとリーダーシップを養える素晴らしい経験でした。仲間とともに12時間という限られた時間で、質の高いアイデアと、それに基づいた質の高いビジネスプランとプレゼンテーションの動画を作るのは過酷な課題でした。しかし、それを国内大会で達成したことでチームの絆がより一層深まり、世界大会に挑む際には各個人が自分の与えられた役目をこなしながら、互いにコミュニケーションすることを最大限に活かし、努力の結晶ともいえるビジネスを完成させることができました。この大会は、メンバー全員のビジネスに対する意識に変化をもたらし、私たちが将来進む道の選択肢を広げ、大きな影響を与えてくれたと思います。多くの高校生にとっても、ビジネスを始める良いきっかけや人生の大切な経験となると思うので、是非参加してみてください!

2022年入賞者



石川明来 (写真一番左)
(慶應義塾湘南藤沢高等部)

私はメンバーに誘われて参加を決めました。事前学習会までどんな大会がよく分からないままでしたが、事前学習会の時に感じた焦りは今でもありありと思い出すことができます。焦りを感じた理由は主に3つあり、それぞれの対策をアドバイスとして紹介します。一つ目は、競技自体の時間の少なさです。12時間という限られた時間の中で提出をしなければならないので、時間の管理は非常に重要になります。役割分担を明確にしたり、作業を時間で細かく区切ったりするとメリハリに繋がります。より良い雰囲気を取り組めたりもします。二つ目は、集中力・モチベーションの維持の大変さです。お菓子を持ち込んだり、疲れてきたら外に出て散歩してみたりすると効果的です。作業から離れるのは勇気が要りますが、冷静に、客観的に考えることができます。三つ目は、アイデアを出す難しさです。今回はたまたま良いアイデアが思い浮かんだね、ではチームとして不安定だと思います。お題を分析して、アイデアを出す流れを数パターン決めておくと、よく知らない課題でも焦らずに取り組めると思います。参加を迷っていたら、是非参加してください! 現在社会で起こっていること、それを支えている仕事をしている大人の偉かさなど、競技中に得られる新たな気づきが多くあります。また、GECで優勝すれば日本の代表として世界と渡り合えます。高校生活最高の思い出を作ってみませんか!

2021年入賞者



星紅愛 (写真前列左から2人目)
(広尾学園高等学校)

GECへの参加を決めた当初は、「12時間」という限られた時間への不安ばかり感じていました。しかし、何でも行った事前練習や本番を通して、最終的には結果だけではない様々なことを学ぶことができ、「本当にチャレンジして良かった」と思える経験となりました。私がGECを通して一番重要な、と感じたのは、提案したアイデアに対してどれだけ全員が納得できるか、という点です。一見、生み出したアイデアが革新的であっても、ターゲットやコスト、実現性など様々な壁をクリアしなければいけないため、「総合的に良い」ビジネスプランを作ることへの難しさに直面しました。しかし、詰まってしまった時には、思い切って与えられた課題を多角的な視点から見つめ直すことで、全員が納得した新たなアイデアを出すことができました。リスクを取ることはになりますが、全員が納得した状態で再スタートを切ったときの疾走感は今でも忘れません!!

詳しい情報はHPで <https://entreplanet.org/GEC/>

〈主催者・連絡先〉

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
〒604-0866 京都市中京区西坊寺町160-2 船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908 E-mail:info@entreplanet.org



高校生が12時間で取り組む国際ビジネス競技
The Global Enterprise Challenge



求む!
未来のチェンジメーカー

世界が共有する課題の解決に挑戦してみませんか?

Global Enterprise Challenge (GEC)は、
多様な視点で既存社会を変革できる
アントレプレナーシップ(起業家的行動能力)
溢れる人材(チェンジメーカー)育成を
目指して開催する高校生対象の12時間の
オンラインの国際競技です。



主催: 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

Global Enterprise Challenge とは

Global Enterprise Challenge (GEC)は、青少年のイノベーションへの興味を喚起するために、2001年にイギリスのスコットランドの行政機関が主催して始まった高校生対象のオンラインの国際競技です。

GECは国内予選と世界大会の2つのステージからなります。まずは国内予選に参加し、最も優れた成果を残したチームが次のステージである世界大会に出場する権利を獲得します。挑戦する課題(Challenge)は、環境、エネルギー、産業、災害対策、教育、福祉等の世界が共有する問題に関わるもので、競技ではその課題を科学技術を活用し、持続可能な開発目標(SDGs)に則って、事業としてどのように解決するかを問われます。

参加チームは、12時間の間に、その解決策となる事業アイデアを英語で事業計画書とプレゼンテーション動画にまとめて提出します。その提出物を、審査員が創造性・革新性、実現性、市場性、コミュニケーション能力などの点で総合的に評価し、入賞者を決定します。提出する事業計画書やプレゼンテーション動画を作成するためには、与えられた課題についての基礎的な知識や持続可能な事業として課題解決にあたるためのビジネス知識に加え、英語力、文章作成や動画編集能力なども必要になります。そして良い成果を出すには、各自が得意分野を活かして役割分担し、チームで協力することが不可欠です。

日本では、"アントレプレナーシップを発揮し、世界レベルで活躍できるリーダーの育成"を目的に活動している特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センターが2004年から日本事務局として国内予選を開催して日本代表を選出して来ました。そして、2017年からは世界大会となるGlobal Youth Entrepreneurship Challenge (GYEC)も主催しています。

このGECは、高校生にとっては挑戦的な競技かもしれませんが、その分、参加者からは高い評価を得ており、将来のキャリアを考え、世界的に活躍するきっかけにもなっています。英語をツールとして使い、多様な視点で持続可能な事業を通じて社会変革に取り組めるグローバル人材"チェンジメーカー"の仲間として、皆さんの参加をお待ちしています！

Global Enterprise Challenge の特徴

対象は高校生

15～18歳の高校生であることが参加条件

チームで戦う

3～8名のチームで登録して一緒に挑戦

12時間の挑戦

当日出された課題の解決案を12時間以内に提出

英語はツール

提出物は英語の事業計画書とプレゼンテーション動画

舞台は世界

国内予選で選ばれたチームが世界大会に出場

どんな課題がでるの？

GECでは、世界が共通に抱える社会問題をテーマに課題(Challenge)が与えられ、12時間以内にそれを解決するための事業アイデアを提出物にまとめる必要があります。競技では、創造的で革新的なアイデアが求められるだけでなく、その事業アイデアが技術的に実現可能または将来実現可能になるか、事業を始めるために必要な経費はいくらで、それをどのように確保するか、事業を継続するための収益を得る方法はいかなるか、その実現のためのプロセスやマーケティング方法なども提示することを求められます。以下は過去の世界大会で出た課題(Challenge)です。



● Propose a business offering an objective evaluation of companies' environmental and SDG initiatives to help consumers spot greenwashing/SDGswashing and choose credible products. (2024)

● Create a new business that will take advantage of a world in which fully automated vehicles are widely available, using existing or reasonably predictable future technologies. (2023)

● Propose an innovative enterprise solution for helping people to verify the truth of the information they encounter, not only on the Internet but also with television, radio, newspapers and other mass media. (2022)

● Propose an innovative business that aims to revive land and soil that has been damaged by droughts, floods and other natural and human causes, while using science and technology. (2021)



Global Enterprise Challenge の参加要項

本競技は、高校生の皆さんにとって身近な社会問題の解決に挑戦し、アイデアを形にしてい活動を通じてアントレプレナーシップ(起業家的行動能力)やリーダーシップ、サポーターシップなど様々な力を培うことを期待して開催するものです。ついては、参加者が公平な環境で有意義な学びが得られるように、以下の条件や確認事項をご理解のうえ応募いただきますようお願いいたします。

参加条件

参加資格として以下3つを満たすことが条件となります。

- ① 高校生(高専3年まで)であること
- ② 世界大会の際に15～18歳であること
- ③ 3人以上8人以下のチームで参加できること

提出物

参加者は、課題(Challenge)が出されてから12時間以内に、課題の解決策になる事業アイデアをまとめた以下のものを英語で作成して提出します。

- A4用紙2枚の事業計画書
- 3分のプレゼンテーション動画

審査基準

事前に選出された審査員が、参加者の提出物を見て、下記の点を総合的に評価して入賞者を決定します。

- ・創造性・革新性 - Creativity and Innovation
- ・資金面と製造の実現性 - Finance and Production
- ・顧客ニーズと市場性 - Marketing and Market Research
- ・コミュニケーション能力 - Communication

*国内予選で優秀な成績を収めたチームが日本代表として世界大会に参加します。世界大会では、各国から選ばれた審査員が提出物の評価にあたり、最も優秀な成績を収めたチームにトロフィーが授与されます。参加チームには、世界大会の参加証と評価をまとめたスコアシートが送付されます。

参加の際の確認事項

参加条件を満たしたら、以下のことを確認して応募ください。

- 同じ学校からは3チームまで
学校が窓口になって応募される場合、同じ学校からは上限3チームまでの登録をお願いしています。それ以上のチーム数になる場合は、学校内で予選を開催し、代表チームを選んで応募ください。
- チーム代表(リーダー)が連絡窓口になること
事務局からは、応募チームの代表者に主としてメールにて連絡します。ついては、代表者の人はメールをチェックし、連絡事項を他のメンバーと共有して競技に臨むようにしてください。
- 期限内に所定の物を提出できること
競技で義務付けられているチーム写真・事業計画書・プレゼンテーション動画に加え、参加後のアンケートなど、主催者が求めるものを期限内に提出できることが必要です。
- 国内予選に入賞した際は世界大会に出場できること
国内予選で代表チームとして選ばれた場合、世界大会への参加は必須です。また、世界大会出場チームには、次年度の競技の事前学習会で体験談をお話いただくなど可能な範囲でご協力をお願いすることがあります。
- 学校や保護者の許可が得られていること
参加者は、教室やPC・インターネットなどの利用に加え、競技中に事故があった場合や世界大会出場の場合の公欠など、事前に学校の先生や保護者の方に相談・確認のうえ了解を得ておくようにしてください。
- 活動できる場所や環境があること
本競技は、国内予選・世界大会ともにインターネットを使ったオンライン競技となります。参加される方は、12時間の競技の間、インターネットにアクセスでき、事務局からの連絡がとれる会場を確保する必要があります。その上で、皆さんが競技で提出しなければならない事業計画書やプレゼンテーション動画などの作成に支障がないようであれば、特に会場としての規定はありません。高校など、必ずしも所属先の団体の会場である必要ありません。メンバーの自宅や保護者の方のオフィスなどでも問題はありません。
- 社会人の監督者がいること
GECでは、参加者が未成年の高校生であることから、万一の場合に備えて社会人の方が1人監督責任者としてついでくださるをお願いしています。学校の先生や企業人、または参加者の保護者など、責任をもって競技中の安全管理を見守って頂ける方ならどなたでも問題ありません。競技時間中ずっと同席頂く必要ありません。なお、同席される監督者は、参加生徒に対して声援はできても、課題解決のためのアイデアを出したり、提出物の作成や文章の編集・英訳を手伝ったりといった協力は許可されていませんので、その点を理解したうえで参画ください。

競技のスケジュール

1月初旬～2月末頃 【エントリー期間】	この期間内に参加申込を受け付けます
3月中旬 【事前学習会】	国内予選の模擬トライアルを実施します(原則参加必須)
3月末頃 【国内予選開催】	世界大会への出場チームを選ぶ予選大会です
4月中旬 【国内予選入賞者発表】	予選結果と日本代表チームを発表します
5月中旬～末頃 【世界大会開催】	他国の参加者とともに競技に参加します
6月初旬 【世界大会入賞者発表】	世界大会の結果と入賞者を発表します

参加費用

1,000円(参加者1人につき)
1チーム8名の場合は8,000円になります。参加者には参加証を発行します。応募期限までに申込フォームから応募し、問題なければ所定の口座に期限内に人数分の参加費を送金ください。なお、振込み手数料は応募者の負担となります。

応募方法

GECのサイトで参加条件や規定を確認し、応募方法のページの参加申込フォームに必要事項を記述して応募ください。

こちらからアクセス

